

I 評価規準

1 単元の評価規準

【単元の評価規準を導き出すために参考とした内容のまとめりごとの評価規準】
「地域の人々の生活や地域の発展に尽くした先人の働き」の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
地域の人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きに関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会に対する誇りと愛情をもとうとする。	地域の人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きから学習の問題を見いだして追究・解決し、地域の人々の生活と願いを表現していく地域の人々の工夫や努力との関連を考え、適切に判断する。	地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を的確に見学、調査したり、年表にまとめたりして調べるとともに、調べた過程や結果を工夫して表現する。	地域の人々の生活の変化や願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を理解している。

【単元の評価規準及び学習活動における具体的評価規準】

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 観察・資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	・地域に残る文化財や年中行事に関心をもち、意欲的に調べたり、考えたりしている。 ・文化財や年中行事を大切にしたり、地域社会に対する誇りと愛情をもったり、発展を願おうとしたりする。	・地域に残る文化財や年中行事について、相違点や共通点を比較して特色をとらえたり、相互の関連を考えたりしている。 ・地域の文化財や年中行事を調べたことを基に、それらに込められた地域の人々の願いを考えている。	・地域に残る文化財や年中行事を調査したり、それらの保存に携わる人から聞き取り調査をしたりして、具体的に調べている。 ・調べた過程や結果を図や表にまとめ、分かりやすく表現している。	・地域に残る文化財や年中行事の内容、いわれ、地域の人々に受け継がれている様子などが分かっている。 ・文化財や年中行事に込められた、人々の願いが分かっている。
学習活動における具体的評価規準	①地域に残る文化財の写真やビデオに関心をもち、自分の生活とどのようなつながりがあるか、考えている。 ②自分が調べたり考えたりしたことを図や地図を使って、発表している。 ③自分が生活している地域社会に対する思いをもち、地域にできることを考え、行動しようという気持ちをもっている。	①地域の文化財や年中行事についての疑問点や驚き、知りたいことなどを基に、共通学習課題を考えている。 ②調べることにについて、自分なりの視点を考え、学習課題に対する予想を立てている。 ③自分の生活と文化財や年中行事、人々とのつながりや相互の関連などについて、考えている。 ④文化財や年中行事に込められた人々のまとめり、地域の発展への願いを考えている。	①地域に残る文化財や年中行事を見学、調査したり、保存に携わる人から話を聞いたりして、具体的に調べている。 ②自分が調べた過程や結果をまとめて、発表する際の表や図に分かりやすく表現している。	①地域に残る文化財や年中行事と自分の生活とのつながりがあることを、分かっている。 ②文化財や年中行事には、人々のまとめりや地域の発展などに対する人々の願いが込められていることが分かっている。 ③文化財や年中行事、それらを受け継いできた人々と自分の生活とのつながりを見つめ直している。

2 単元の評価計画

評価の観点 (時間)	1次 (1)	2次 (1)	3次 (2)	4次 (2)	5次 (2)	6次 (2)	7次 (1)	8次① (1)	8次② (1)
ア 社会的事象への関心・意欲・態度	①					②		③	
イ 社会的な思考・判断		①	②			③	④		
ウ 観察・資料活用の技能・表現				①	②				
エ 社会的事象についての知識・理解				①			②		③

【ア；社会的事象への関心・意欲・態度】

学習活動における具体的評価規準	「十分満足できる」状況（A）を実現していると判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断した児童への指導の手だて
アの① 地域に残る文化財や年中行事の写真やビデオに	（学習カードの記述内容の分析から）地域に残る複数の文化財や年中行事と自分の生活とつながりがあることを具	・つながりについて学習カードに書けない児童については、自分の家の近くにあるものはないか、見たこと

	関心をもち、自分の生活とつながりがあるか、考えている。(1次)	体的な理由を思い浮かべながら考えている。	があるのではないか、家の人から聞いたことはないかなど、思い起こすように話す。
アの②	自分が調べたり考えたりしたことを図や地図を使って、発表している。(6次)	(発表する際の行動観察の分析から)自分が調べたり考えたりしたことを図や地図を効果的に使って、調べた過程や考えを発表しようとしている。	・発表する際に、声が小さい児童については、聞いている人の頭の上を見て声を出すことと、声を出すことがはずかしいことではないことを話す。 ・発表することが不得意と感じている児童に対しては、大きな声でゆっくり話す児童を参考に、同じように発表してみることを助言する。 ・どんなことを質問していいかわからないでいる児童については、自分が調べたものと比べて共通点や相違点を考えてみるように助言する。 ・文化財や年中行事等と自分とのつながりについてあまりとらえていない児童に対しては、他の友だちの発表を聞きながら、どのようにつながりを考えているか、また、自分と比べて同じようなつながりをもっているか、違っているのか考えるように支援する。
アの③	自分が生活している地域社会に対する思いをもち、自分にとってできること、行動しようという気持ちをもっている。(8次①)	(学習カードの記述内容の分析から)自分が生活している地域社会に対する思いをもち、地域に対してできることを具体的に考えて、行動しようという気持ちになっている。	・自分のできることが見つからない児童に対しては、地域の文化財や年中行事を守り、受け継いできた人々だったら、自分たちにどんなことをしてほしいか、どのようにしてほしいかを考えるように助言する。

【イ；社会的な思考・判断】

学習活動における具体的評価規準		「十分満足できる」状況（A）を実現していると判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断した児童への指導の手だて
イの①	地域の文化財や年中行事についての疑問点や驚き、知りたいことなどを基に、共通学習課題を考えている。(2次)	(発言や学習カードの記述内容分析から)地域の文化財や年中行事についての疑問点や驚き、知りたいことなど、自分の学習カードに書かれたことを基に、古くから伝わるものについて調べる視点を踏まえた複数の共通学習課題を考えている。	・共通学習課題を学習カードに書けない児童については、前次に行った疑問に思ったこと、すごいと思ったこと、知りたいことなどをもう一度思い起こすように、個別に指導・支援する。
イの②	調べることにについて、自分なりの視点を考え、課題に対する予想を立てている。(3次)	(学習カードの記述内容分析から)文化財や年中行事について、どこにどのようなものがあるか、いつごろからあるのか、だれがつくったり守っているのか、どんな工夫や努力をしているのかなど、文化財や年中行事の特色をとらえるのに効果的な視点を考え、予想した根拠が明らかになっている。	・課題に対する予想が立てられない児童については、たとえば「どんな努力をしているか」ということの予想であれば、自分だったらそのようなときに、どうするかということを考えさせるなど、自分の生活を基に具体的に考えるように、指導・支援する。
イの③	自分の生活と文化財や年中行事、人々とのつながりや相互の関連などについて、考えている。(6次)	(つながりマップにかかれた図の分析から)自分の生活と文化財や年中行事、それにかかわる人々など相互に関連性があることを関連する理由を考えながら、事象相互を線で結び付け、図に表している。	・文化財や年中行事等と自分の生活との間に複数のつながりを見いだせない児童に対しては、今まで知らなかったことを知ったものがあるか、知っていたけれどよりたくさん知ったものがあるか、心を動かされたものがあるか、感動したものがあるか、驚いたものがあるか、家族とのつながりがあるか、友だちとのつながりがあるか、友だちのつながりと同じようなつながりがあるかなど、その児童に応じた考える視点を与えるようにする。

イ の ④	文化財や年中行事に込められた地域の人々の願いを考えている。 (7次)	(発言や学習カードの記述内容の分析から)文化財や年中行事にかかわる人々の工夫や努力と人々のまとまりや地域の発展などに対する人々の願いを結び付けて考えている。	・人々の願いを考えられない児童については、文化財を見たり、年中行事に参加したりすると、どんな気持ちになるか、考えるように指導・支援する。
-------------	---------------------------------------	--	--

【ウ；観察・資料活用の技能・表現】

学習活動における具 体の評価規準		「十分満足できる」状況（A）を実現 していると判断した児童の具体的な状 況例	「努力を要する」状況（C）と判断 した児童への指導の手だて
ウ の ①	地域に残る文化財や年中行事を見学、調査したり、保存に携わる人から聞いたこと、具体的に調べている。 (4次)	(行動観察や学習カードの内容分析から)文化財や年中行事について、どんなものがどこにどのように存在しているか、いつごろからあるか、誰がつくったり、守ったりしているか、どんな工夫や努力をしているかなど、具体的に調べて分かりやすく学習カードに記録している。	・話を聞きにいった地域の人々に質問が思うようにできない児童については、「インタビューマニュアル」を思い起こさせ、聞きたいことを落ちついて話すように支援する。 ・文化財を調査する中で、何をすればいいか分からなくなってしまった児童には、自分が考えた調べるものの書かれた学習カードを見て、何を調べるのか確認するように助言する。 ・文化財や年中行事にかかわる人々に聞いたことをあまりよく記録できていない児童については、計画を立てる段階で学習カードに書いた、調べる項目ごとに、聞いたこと、見たことを思い出してみるように話す。
ウ の ②	自分が調べた過程や結果をまとめて、発表する際の表や図に分かりやすく表現している。(5次)	(作品の分析から)調べた過程や結果をまとめる際に、文化財や年中行事の特色や、自分の生活と文化財や年中行事とのつながりを分かりやすく表現している。	・調べたことをまとめることがよくできない児童については、調べた視点ごとに、調べた結果がどうだったか、教師とともに考えていくなど、個別に指導・支援したり、班で協力できるように援助したりする。

【エ；社会的事象についての知識・理解】

学習活動における具 体の評価規準		「十分満足できる」状況（A）を実現 していると判断した児童の具体的な状 況例	「努力を要する」状況（C）と判断 した児童への指導の手だて
エ の ①	地域に残る文化財や年中行事と自分の生活とのつながりがあることを、分かっている。 (4次)	(学習カードの内容の分析から)今までの自分は、文化財について、建物は2年生の時に見たことがあったが、調べて、今から400年以上も前に作られたものだということを知ったり、管理している人が、一生懸命そうじしたり、手入れをしたりしているということを知って、この文化財がとても好きになったなど、文化財とのつながりが深まったことを、具体的にとらえている。	・文化財や年中行事の特色をあまりとらえられない児童については、どこに、どんなものが、どのようにあったのか、指導者と一緒に考えるように支援する。 ・文化財や年中行事、それらにかかわる人々とのつながりや共通点、相違点をとらえられなかった児童については、調べたことをまとめる段階で個別に指導する。
エ の ②	文化財や年中行事には、人々のまとまりや地域の発展などに対する願いが込められていることが分かっている。 (7次)	(発言や学習カードの内容分析から)文化財や年中行事にかかわる人々はそれを受け継ぐために、とても努力している。それは、地域の発展や地域の人々のまとまりに対する願いをもっている。さらに人々は、文化財や年中行事を大事に思っていることが分かっている。	・文化財や年中行事に込められた人々の願いをとらえられなかった児童については、その文化財があることによって、それを見た人、参加した人がどのような思いをするか考えるように個別に指導・支援する。
エ の ③	文化財や年中行事、それらを受け継いできた人々と自分の生活とのつながりを見つめ直している。(8次②)	(学習カードの内容分析から)文化財や年中行事、それらを受け継いできた人々と自分の生活とのつながりを、調べたことや地域の人々、ゲストティーチャーの話し等により、複数見だし、文化財に対する考えを多面的にとらえて書いている。	・自分の生活と地域とのつながりについて自分の思いをまとめられない児童に対しては、自分が調べた地域の文化財や年中行事、それらにかかわる人々の願いなどを考えて、自分はどんなことを感じたのかを考えるように支援する。

3 評価カード

		組 番・氏名									
評価の観点 (時間)		1次 (1)	2次 (1)	3次 (2)	4次 (2)	5次 (2)	6次 (2)	7次 (1)	8次① (1)	8次② (1)	総合
ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	①						②		③		
コメント											
イ 社会的な思考・ 判断		①	②				③	④			
コメント											
ウ 観察・資料活用 の技能・表現					①	②					
コメント											
エ 社会的事象につ いての知識・理解					①			②		③	
コメント											

※評価する観点ごとに、表の○数字の欄にA、B、Cを記入、また、気付いたことをコメントとして記入する。単元終了時に総合評価を観点ごとに記入する。